

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	地域医療再生臨時特例交付金		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～25年度		担当課室	指導課 医師確保等地域医療対策室		室長:佐々木 昌弘	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効果的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「地域医療再生計画について」(平成21年6月5日)、「平成21年度地域医療再生臨時特例交付金の交付について」(平成21年6月5日)、「平成23年度(平成22年度からの繰越分)地域医療再生臨時特例交付金の交付について」(平成23年5月9日)、「平成24年度地域医療再生臨時特例交付金(第1次補正予算分)の交付について」(平成25年2月26日)、「地域医療再生臨時特例交付金の運営について」(平成25年2月26日)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域における医療課題の解決を図るため、当交付金を交付して都道府県に基金を設置し、従来の病院毎(点)への支援ではなく、都道府県が策定する地域医療再生計画に基づく対象地域全体(面)への支援を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県が策定する地域医療再生計画に基づき、当交付金を交付して都道府県に基金を設置 ・平成21年度補正予算では、2,350億円を交付(二次医療圏を基本とする地域を対象) ・平成22年度補正予算では、2,100億円を交付(都道府県全体を対象) ・平成24年度補正予算では、地域医療再生計画に基づく事業を遂行していく中で、計画策定時以降に生じた状況変化に対応するために生じる予算の不足を補うため、全都道府県合計で500億円(配分額は有識者会議の意見を聴取したうえで決定)を交付。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				-	
		補正予算	210,000		50,000		
		繰越し等	▲ 210,000	210,000	▲ 50,000	50,000	
	計		210,000		50,000	-	
	執行額	-	210,000				
執行率(%)	-	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	地域の医療課題を解決するため、各都道府県が実情に応じて必要な医療提供体制の基盤整備を計画的に行う。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地域ごとに、それぞれの医療課題の解決を図るものであることから定量的指標の設定を行うのではなく、有識者会議を開催し、各都道府県の計画の進捗・成果の評価を行っている。	活動実績(当初見込み)	-	-	-	-	-
				-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	-	-	-	-			
	計						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	地域の医療課題を解決することは、国民の生活を守る上で重要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地域の医療課題を解決するための基盤となる医療提供体制の整備について、国として財政支援を行う必要がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	各都道府県が実情に応じて優先度の高い事業を実施している。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	補助率等は、各都道府県において妥当性を精査し、設定している。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	都道府県が策定する「地域医療再生計画」に基づいて交付額を決定しており、「地域医療再生計画」に定められた事業の実施に活用するため、目的に即した用途に限られる。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	都道府県は自ら策定した「地域医療再生計画」に基づく事業に活用できるため、医療課題の解決に向けて実効性の高いものとなっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		-	
	-	-	-		-	
点検結果	当該事業は、地域の医療課題を解決するために各都道府県が計画的に行う医療提供体制の基盤整備に対する重要な支援事業であり、都道府県が行う平成25年度末までの事業を対象としているが、平成25年度末までに開始する事業において、翌年度以降へ継続させなければ予め設定された目標が達成されないと見込まれる場合には、国の承認を経て、延長を可能としている。 各事業を着実に進めることにより、今後の成果が期待されることから、継続して都道府県を指導してまいりたい。					
外部有識者の所見						
今年度で事業の終期を迎えることを勧告し、事業内容を精査するとともに予算額への反映が必要。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
本事業の取扱いについては、今後の予算編成過程で検討する。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	74	平成23年	0062	平成24年	1036

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					